

■使用製剤・症状別副作用報告数(対供給本数に対する頻度)(2024年)

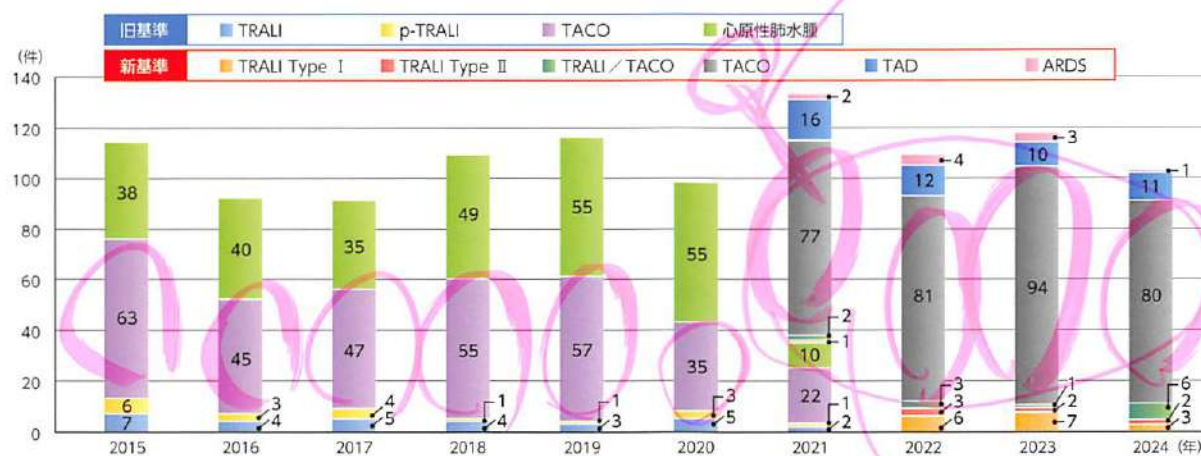
製剤	血小板製剤*	赤血球製剤*	血漿製剤
供給本数	825,299	3,343,792	894,101
アレルギー	873 件(約 1/ 1,000)	295 件(約 1/ 11,000)	336 件(約 1/ 2,700)
重症アレルギー	195 件(約 1/ 4,200)	91 件(約 1/ 37,000)	141 件(約 1/ 6,300)
発熱	70 件(約 1/ 12,000)	309 件(約 1/ 11,000)	14 件(約 1/ 64,000)
呼吸困難	20 件(約 1/ 41,000)	60 件(約 1/ 56,000)	3 件(約 1/ 300,000)
血圧低下	17 件(約 1/ 49,000)	57 件(約 1/ 59,000)	12 件(約 1/ 75,000)
TACO	7 件(約 1/ 120,000)	57 件(約 1/ 59,000)	3 件(約 1/ 300,000)
TRALI	2 件(約 1/ 410,000)	2 件(約 1/ 1,700,000)	1 件(約 1/ 890,000)
その他	76 件(約 1/ 11,000)	154 件(約 1/ 22,000)	29 件(約 1/ 31,000)
合計	1,260 件(約 1/ 700)	1,025 件(約 1/ 3,300)	539 件(約 1/ 1,700)

上記製剤には、放射線照射製剤及び未照射製剤の両方が含まれます。また2種類以上の製剤が使用された症例は除外しました。

※洗浄赤血球製剤、解凍赤血球製剤、合成血液、洗浄血小板製剤(HLA適合製剤を含む)の使用症例は除外しました。

■TRALI/TACO症例の推移(2015年～2024年)

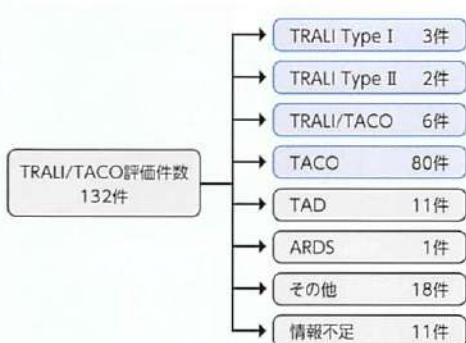
2021年4月報告分からTRALI及びTACOの評価基準を変更しております。



TACOはTRALIと同様に重篤な症状を呈する副作用の一つであり、毎年数十件の報告があります。輸血する際には、患者の心機能や腎機能等を考慮の上、輸血量や輸血速度を決定することが重要です。

※参考資料：輸血情報2502-185「輸血関連循環過負荷(TACO)の危険因子について」

■TRALI/TACO評価の内訳(2024年)



2024年はTRALI/TACO評価対象とした症例報告は132件でした。そのうち、TRALI Type I 3件(2.3%)、TRALI Type II 2件(1.5%)、TRALI/TACO 6件(4.5%)、TACO 80件(60.6%)と評価しました。なお、評価対象132件のうち11件(8.3%)は、詳細調査票や胸部画像等の情報不足のため評価することができませんでした。

TRALI/TACO評価に必要な情報

- 輸血12時間前から発症後呼吸困難が改善するまでの以下の情報
副作用等の経過、バイタルサイン、血球計算(白血球百分率を含む)、呼吸状態(血液ガス、酸素飽和度など)
- 副作用発生前後の胸部画像(X線、CTなど)

呼吸困難等の重篤な症状が現れた場合は、輸血を中止するとともに、重症度に応じ酸素投与等の適正な処置を行ってください。

輸血用血液製剤の使用による副作用・感染症が疑われた場合は、直ちに赤十字血液センター医薬情報担当者までご連絡ください。また、原因究明のために、使用された製剤及び患者の検体等の提供をお願いすることがあります。なお、使用された製剤及び患者の検体は「血液製剤等に係る選及調査ガイドライン」を参照のうえ保存してください。

日本赤十字社 医薬品情報ウェブサイト

製品情報・輸血情報等についてはこちら

日本赤十字社 医薬品情報 **検索**

<https://www.jrc.or.jp/mr/>



輸血情報 2509-189

〈発行元〉

日本赤十字社 血液事業本部 技術部 学術情報課

〒105-0011 東京都港区芝公園1丁目2番1号

※お問い合わせは、最寄りの赤十字血液センター医薬情報担当者へお願いします。